

令和6年度いじめ問題解決に向けた藤岡市立藤岡北中学校の取組

1 いじめ問題解決に向けた私たちの取組名

「みそあじ」を使つたいじめ未然防止

2 「いじめ撲滅宣言」とのかかわり

北中学校では、いじめ撲滅宣言及び行動目標を受け、平成19年度に全校生徒の願いを生徒会本部が中心となってまとめた「北中はあとふる宣言」を採択しました。今年度も、「北中はあとふる宣言」を基本に「笑顔、やる気、希望いっぱいの学校づくり」に努めてきました。

今年度は、生徒一人ひとりに学校に居場所があることを感じながら毎日笑顔で登校し、その時々の目標達成に意欲的に取り組むことで、自らの進路の実現に向けて希望をもつて生活ができる学校づくりに努めています。

3 「みそあじ」とのかかわり

北中学校では、15年前から「みそあじ」を合い言葉に、【みだしなみすっきり】【そうじしっかり】【あいさつぱっちり】【じかんきっちり】を目標に、生活の土台を整えるための活動を行ってきました。

昨年度、生徒会本部役員がぼ☆ら☆り☆す（北連携型小中一貫校学校運営協議会）と熟議を行い「みそあじ」を意識した学校生活を送ることは、「相手を大切にすること」に繋がるということに気づき、「みそあじ」を使つたいじめ防止に努めてきました。

また、今年度は、地域にも「みそあじ」を広げられるよう、ポスターの製作を行い、地域の掲示板に掲示をしていただきました。



地域の掲示板

【北中はあとふる宣言】

- 一、私たちは、仲間はずれを絶対に作りません。
- 一、私たちは、自分がされて嫌なことは絶対にしません。
- 一、私たちは、相手の立場に立って考えます。
- 一、私たちは、人のよいところを見つける努力をします。
- 一、私たちは、誰に対しても明るく元気のよいあいさつをします。
- 一、私たちは、特定の人だけでなくみんなと会話します。
- 一、私たちは、いじめにあつたり、見たりしたら相談します。



北一貫校

児童会生徒会

みそあじポスター

3 共通の取組①「スマイルハイタッチあいさつ運動」②「HAPPY はあとふるツリー運動」

北中学校では、本気で学び、本気で議論し、笑顔いっぱい・いじめゼロ、みんなで目指せエージェンシー（ほほえみ）を達成できるよう、全ての生徒が安心・安全の学級で生活できる学校を目指しました。今年度は、人権教育に力を入れ学級活動の時間や人権集中学習を通して、自分たちの使っている言葉や行動について見直したり、クラスとしての課題について話し合ったりしました。

①「スマイルハイタッチあいさつ運動」

今年度も北中学校では、生徒会と生活委員会が中心となり、「スマイルハイタッチあいさつ運動」を実施しました。感染症対策として、直接手を触れ合う代わりにうちわを使ってハイタッチをしました。この活動は、朝から元気なあいさつを交わすことで、学校全体を明るく活気づけ、いじめを未然に防ぐことを目的としています。

また、校区全体で取り組んでいる「みそあじ運動」の「あ」（あいさつ）を重点的に強化するため、生徒たちは「相手の気持ちを考えたあいさつ」について話し合いました。その結果、「笑顔で」「相手の目を見て」「優しい声で」あいさつをすることが大切であるという結論に至りました。率先してこのあいさつ運動を実践し、学校全体にあたたかい雰囲気を広げました。

②後期人権集中学習「HAPPY はあとふるツリー運動」

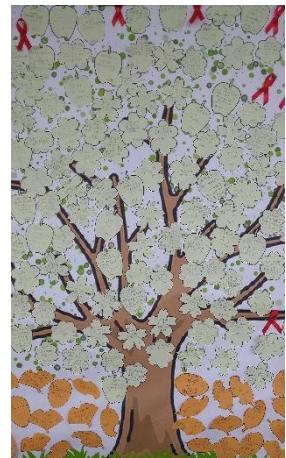
今年度北中学校では、「SINRAI はあとふるツリー」として、「友情・信頼」をテーマに友達を認める心や周りのために行動することの大切さに気づき、より良い人間関係づくりを目標に活動を行いました。

今年度は、生徒会本部役員の提案で、友達に対して「ありがとう」や「すごいね」などの温かい言葉を伝えるだけでなく、自分のこれまでの言動を見直し、「友情・信頼」を達成するために、自分でしないことを宣言し、落ち葉として表現を行う工夫をすることにしました。

活動を通し、みんなのいいところを再確認するだけでなく、自分たちでいいクラスを作つていこうとする意欲を高めることができました。



ハートフルツリーを作成する様子



完成した SINRAI ハートフルツリー

4 私たちの取組

(1) 北中決起集会

今年度から春季大会が廃止され、春季大会での喜びや悔しさなどの様々な思いを、夏季大会につないでいくことができなくなりました。そこで、藤岡市立北中学校の部活動を全校生徒で鼓舞し合い、3年生にとって最後の大会やコンクールに向けた学校全体の雰囲気をより一層盛り上げ、生徒の帰属意識を高める事をねらいとしました。

また、この日は、校長先生の60歳の誕生日でもあることから、サプライズでお祝いをすることで、温かみのある雰囲気を作ることができました。



(2) 前期人権集中学習（北中感謝祭）

代表委員会で前期人権集会のテーマを話し合い、今年度のテーマは「認め合い」に決まりました。そこで、北中学校では、～「ありがとう」でお互いのことを認め合おう～北中感謝祭を開催しました。生徒会本部では、ありがとうソングを全校から募集し、放送委員会に放送してもらったり、広報委員会が各委員会の活動をポスターで紹介し感謝の言葉を伝えたりしました。また、各委員会でもありがとうをテーマに日常の活動を見直しました。

人権集中学習期間を通して「ありがとう」と感謝を伝える大切さを再確認し、互いの活動を認め合い、これからもよりよい関係を築いていこうという意識を高める事ができました。



(3) 北斗祭

北中学校の文化祭である北斗祭は、生徒会本部役員と実行委員が、オープニングからエンディングまで企画し、今年度も様々な工夫を凝らした出し物で会場が一体となり感動の渦を巻き起こす生徒主体の行事になりました。

当日を迎えるまで、各クラスは練習を工夫し、クラスとしての団結力・絆を深めました。学校行事を通して友達の良さやクラスのあたたかさを感じることにより、いじめが起きない環境を作ります。北斗祭では、各クラスが一丸となり合唱コンクールの金賞を目指しました。クラスで協力し、素晴らしい合唱を作り上げました。



学級での練習の様子



ウクレレを演奏するグループ



前日の準備の様子



合唱前にクラスが団結する様子

(4) 体育際

北中学校のもう一つの学校行事は体育際です。今年度は、代表委員会で競技種目やルール、役割分担を各委員会で行う事を決定し、全ての生徒が創り上げる体育際を目標に活動を行いました。代表委員で話し合った役割分担を各委員に持ち帰り、一人一人が役割を持つことによって、体育が苦手な生徒も目的意識を持って行事に参加することができ、学級や委員会に所属感を持つことができました。

体育祭の最後には、全校生徒で「栄光の架け橋」の合唱を行い、北中学校が一つになった瞬間を作ることができました。



北中学校の全体美



委員会対抗 SDG s リレーの様子



閉会式の様子



全校で「栄光の架け橋」を歌う様子

(5) 北中感謝祭 2

今年度のいじめ問題解決に向けた子ども会議で、北一貫校では、いじめ防止活動として「相手のいいところに気づきそれを伝える活動」を行う事を掲げました。

そして、相手のいいところに気づき伝えるためには、やはり日頃の感謝の気持ちを伝えることがよいのではないかと考えました。そこで、3年生が卒業するタイミングに合わせ、先輩や後輩、友達同士、先生、保護者、地域の方々にまで感謝の気持ちを伝える、「ありがとうを叫ぼう。」を企画しました。

卒業する3年生には、在校生から卒業生に向けて感謝の手紙を書き、それを3年生フロア一に掲示する「感謝ロード」を作成しました。

また、10日から12日のお昼の放送では、感謝の気持ちを伝えたい人が、放送で直接メッセージを送りました。

同じ学校で一緒に生活する仲間に向けて、「ありがとう。」「これからも、よろしく。」と伝える事で、温かい雰囲気の中で卒業式を迎える事ができました。



感謝ロード・3年生への感謝の手紙



5 取組のまとめ

（1）取組の効果

一昨年、12月に行われた学校運営協議会の中で、その後の児童会生徒会、委員さんとで行った熟議では「みそあじ運動を地域に広げるためにはどうしたらよいか」について「みそあじ啓発ポスターを作成し地域の掲示板に貼る」等の意見が出されました。今年度は北中の生徒が作成した、ポスターが校内の中だけでなく、北中校区の地域に「みそあじ」を広げることができました。「みそあじ」が学校だけでなく、地域の合い言葉として広がり、相手を思いやる気持ちに溢れた地域づくりに参加していきたいです。

また、今年度は、例年行っている北中の伝統行事を、生徒みんなで創り上げることを意識してきました。その結果、生徒の所属感は高まってきたように思います。

学校評価アンケートでは、【学校生活についてあなたが普段どう感じているか】という質問には、98%の生徒が学級を楽しい・だいたい楽しいと回答しており、97%生徒は学校を楽しい・だいたい楽しいと回答している。また、【あなたは自分のよいところや、相手のよいところを認めているか】という問には99%の生徒が認める事ができていると回答した。今年度、行ってきた取り組みによって、生徒一人ひとりの所属感や自己肯定感を高めることができのではないかと思います。

（2）今後の課題

学校生活の基盤である基本的生活習慣がしっかりとできる学校ならば、いじめは起きないと考えており、「みそあじ」運動に力を入れてきました。また、新生徒会は「Level up 影響・共生」を掲げ、生徒一人ひとりが、問題意識をもって主体的に取り組み、お互いに影響し合いながら共に暮らし、質を高め合っていくことを目標にしています。

「よい」「悪い」の勧善懲惡でなく、生徒自身が考え、判断できる学校を目指し、来年度も生徒会本部役員を中心に、学級や学年の枠を越えて、先輩・後輩が議論を交わし自分たちの学校を創っていき、学校文化として話し合える学校を目指していきたいと思います。

いじめ問題解決に向けた年間の取組

藤岡市立 北中学校

月	学校の取組	中学校区での取組
4月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動	・小中、地域でのあいさつ運動 ・年度初めによる生徒や家庭への“みそあじ”的確認
5月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動 ・前期人権集中学習 いじめに関する道徳の実施	
6月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・Q-Uテストの実施(1回目) ・あいさつ運動 ・ソーシャルスキルトレーニング ・北中感謝祭 ・はあとふる宣言	
7月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動 ・人権学活 ・始業式にてSOSの出し方についての話	
8月	・必要に応じて、個人面談	・校区いじめサミット開催 ・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
9月	・藤岡多野いじめ防止フォーラムへの参加 ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動	
10月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動	・いじめ問題解決に向けた教育懇談会
11月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・Q-Uテストの実施(2回目) ・三者面談の実施 ・あいさつ運動 ・人権教室	
12月	・SINRAIはあとふるツリー(後期人権集中学習) ・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動 ・人権講演会	・長期休業に向けて生活の決まりの指導の徹底
1月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動 ・いじめ問題解決に向けた子ども会議開催	
2月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動	
3月	・生活アンケート(いじめ・悩みごと実態調査) ・あいさつ運動	